

製品名: APAF1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87003**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:142 kDa; Observed MW:142 kDa

抗原情報

遺伝子名	APAF1
別名	CED4; APAF-1
遺伝子 ID	317
SwissProt ID	O14727
免疫原	ヒト APAF1 の組み換えタンパク質

背景

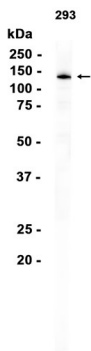
この遺伝子は、アポトーシスを誘導する細胞質タンパク質をコードしています。このタンパク質は、WD-40 ドメイン、カスパーゼリ

クルートメントドメイン (CARD)、および ATPase ドメイン (NB-ARC) の複数のコピーを含んでいます。シトクロム c と dATP に結合すると、このタンパク質はオリゴマー状のアポトソームを形成します。アポトソームはカスパーゼ 9 プレプロタンパク質に結合して切断し、成熟した活性化型を放出します。活性化されたカスパーゼ 9 は、その後のカスパーゼカスケードを刺激し、細胞をアポトーシスへと誘導します。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



APAF1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して 293 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。